



桂久武写真

お 金 から見る

明治維新

山ヶ野金山(『三国名勝図会』より)

明治維新と霧島



調所 広郷 像
尚古集成館蔵

平成三十年度
霧島市立国分郷土館
企画展

平成30年10月16日(火) ~ 12月24日(火)

霧島市立国分郷土館

〒霧島市国分上小川 3819 (城山公園入口)
TEL/FAX 0995-46-1562

入館料 小学生~高校生 70円 (60円)
大人 130円 (110円)

()は10名以上の団体

開館時間 9:00~17:00
月曜休館
(祝日の場合はその翌日)

平成30年度 霧島市立国分郷土館 企画展
【明治維新と霧島 お金から見る明治維新】
招待券
本券1枚で2名様まで
1回限り有効

平成30年度 霧島市立国分郷土館 企画展 明治維新と霧島 お金から見る明治維新

明治維新を薩摩藩が成し遂げることができた背景には、山ヶ野金山などから採れる金や天保の財政改革などにより、他藩に比べて経済的余裕があったことがあげられます。

「お金」という視点から明治維新を捉えなおすことで、霧島での様々な歴史事象や役割がみえてきました。

プロローグ **金** がかかるよ明治維新



山ヶ野で使用された金秤

明治維新を薩摩藩が成し遂げるには、政治力だけではなく、資金力も必要でした。薩摩藩がどのようなものにお金を使っていたのかをご紹介します。

第一章 **金** が採れた山ヶ野金山

横川に位置する山ヶ野金山からは豊富な金が採れました。薩摩藩財政に大きな影響力を与え、近代化にも関わる金山についてご紹介します。



調所家蔵 薩摩焼

第二章 **金** を返した調所広郷

薩摩藩の財政を立て直し、幕末薩摩藩活躍の基礎を築いた調所広郷。その偉業と共に、調所家に伝わる様々なお宝をご紹介します。



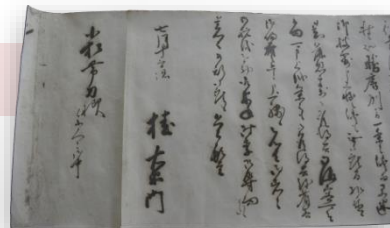
天保通宝・琉球通宝

第三章 **金** を造った国分の銅

薩摩藩は、必要なお金を調達するために偽金づくりを行っていました。霧島との関係もご紹介します。

第四章 **金** を見通す桂久武

薩摩藩家老として明治維新の陰で支えた桂久武。これまで知られてこなかった霧島での開拓など、経済への先見性があった桂久武をご紹介します。



小松帯刀宛 桂久武書状

エピローグ **金** より休暇な西郷どん

明治維新後、西郷隆盛は日当山温泉など霧島の地にて休暇を満喫します。霧島での西郷の生活ぶりをご紹介します。



西郷南洲翁狩姿

● 社会教育課職員による展示解説 ●

日時:平成30年10月28日(日)

1回目 11時～12時

2回目 14時～15時

事前申込:不要 参加料:不要

(入館料もしくは招待券が必要です)

●社会教育課のフェイスブックページ

霧島市 社会教育課

検索